

トマト(露地作型)の栽培

佐渡農業普及指導センター

1 栽培のスケジュール

月 旬	5			6			7			8			9			10			主要品種
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
露地	△	△																	桃太郎 桃太郎8

【栽培のポイント】

- ◆ナス科作物(トマト、ピーマン、なす、ぱれいしょ等)の連作は避けましょう。
- ◆芽かきは早めに行いましょう。
- ◆肥料は1回の量を少なめに、回数を多く行いましょう。

2 定植

(1) 本畑の準備

【畦立て・マルチ】

◆栽植密度

2条植え：畦巾180cm、株間45cm
条間70cm

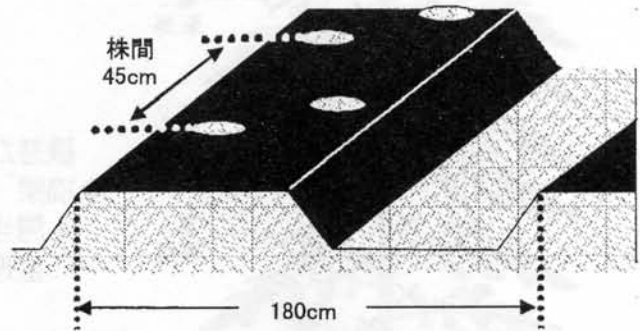
1条植え：畦巾135cm、株間35cm

1アール当たり本数200~220本

- ◆早めにマルチをはり、地温を高くして苗を定植します。

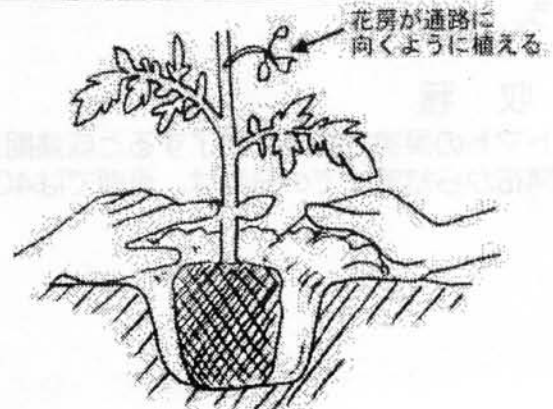
【施肥例(kg/1アール)】

肥料名	基肥	追肥			成分			追肥時期の目安
		①	②	③	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	
完熟堆肥	300							1回目： 第1果がピンポン 玉位の時 2回目： 1回目の20日後 3回目： 2回目の20日後
DL消石灰	10							
そさい配合特1	15				1.2	1.2	1.2	
ようりん	5					1.0		
NK化成E989		2	2	2	1.1		1.1	
合計					2.3	2.2	2.3	



(2) 定植

- ・暖かい日を選んで定植します。
- ・花房が通路側に向くようにして植えましょう。
- ・接木苗の場合は接木部分を土中に埋めないように注意しましょう。

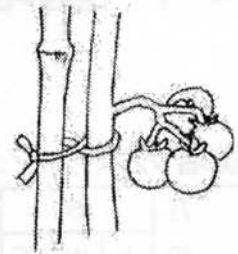


3 定植後の管理

(1) 誘引

定植後、遅れないように支柱を立て、各花房の下で誘引テープやひもを使って誘引してやります。

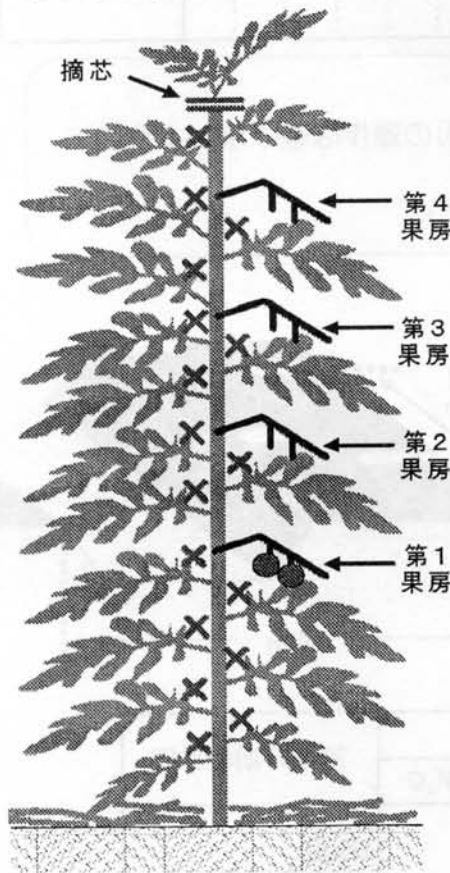
- ・花房を通路に向けて誘引します。
- ・花房の下を8の字にくくってやります。
- ・茎が太くなるので、ひもは余裕を持たせてしばりましょう。



(2) ホルモン処理

開花前3日～開花後3日位（1花房で3～5花開花した時期）に霧吹き等でホルモン剤を花房にかけます。1花房1回とし、花房以外にはかけないように注意しましょう。

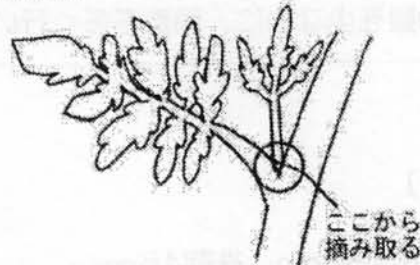
(3) 芽かきと摘果



◆摘芯

← 主枝の摘芯は、収穫終了予定期から逆算して2ヶ月前に開花した花房の上2～3枚残して行います。

◆腋芽かき

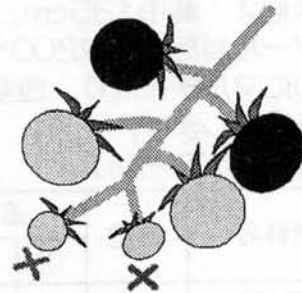


腋芽が大きくなるうちに芽かきを行います。

◆摘果

1房当り4～5果に整理します。

※作業は晴れた日の午前中に行いましょう。



(4) しきわら

マルチは定植後の地温を上げ、苗の活着や初期生育の促進、雑草防止に効果がありますが、根が上根になると、夏場に向かって地温があがりすぎるため、根が傷んだり、着果が多くなってくると株が萎れたりしやすくなります。梅雨時期にはマルチを寄せてしきわらを行うか、又はマルチの上からしきわらを行い、乾燥防止や地温の低下を図りましょう。

4 収穫

トマトの果実は肥大が完了すると成熟期に入り、着色します。開花から結実までの日数は、夏期では40～50日です。

トマト

《殺虫剤》

剤系	薬剤名	価格 ／容量	農業使用基準				主な適用害虫							
			濃度・量 (10a)	使用期間 (収穫何日まで)	使用 回数	含有 成分	ネコフセ ンチュウ	アブラム シ類	コナジラ ミ類	アザミウ マ類	オオタ バコガ	ハダニ	その他	
有機リン	ネマトリンエース粒剤	3,601 ／5kg	20kg	定植前	1	1	○							
有機リン	オルトラン粒剤	745 ／1kg	1～2g/株	定植時～収 穫前日まで	3	1		○	○					
ネオニコチノイド	アドマイヤー1%粒剤	1,186 ／950g	1～2g/株	定植時	1	1		○	○					
ピレスロイド	アーデント水和剤	955 ／100g	1000倍	前日まで	3	1				○	○			
ピレスロイド	★アグロスリン乳剤	997 ／100ml	2000倍	7日前まで	5	1		○	○					
その他	★コテツフロアブル	2,257 ／100ml	2000倍	21日前まで	2	1				○	○	○		
その他	★サンマイルフロアブル	1,417 ／100ml	1500倍	前日まで	2	1			○				○	
有機リン	スミチオン乳剤	378 ／100ml	2000倍	7日前まで	2	1		○						オオニジュウヤ ホシテントウ
ネオニコチノイド	モスピラン水溶剤	1,764 ／100g	2000倍	前日まで	3	1		○	○	○				

《殺菌剤》

剤系	予防・ 治療効果	薬剤名	価格 ／容量	農業使用基準				主な適用病害						
				濃度・量 (10a)	使用期間 (収穫何日まで)	使用 回数	含有 成分	葉かび 病	灰色 かび病	疫病	輪紋病	炭疽病	菌核病	その他
ストロビルリン	予・治	アミスター207フロアブル	3,759 ／250ml	2000倍	前日まで	4	1	○	○					
その他	予	ジマンダイセン水和剤	598 ／250g	800倍	前日まで	2	1	○		○	○			
有機塩素	予	ダコニール1000 フロアブル	913 ／250ml	1000倍	前日まで	4	1	○	○	○	○	○		すすかび病
その他	予	トップジンM水和剤	1,207 ／250g	1500～ 2000倍	前日まで	5	1	○	○				○	
その他	予	ヘルコート水和剤	850 ／100g	3000～ 6000倍	前日まで	3	1	○	○					
その他	予・治	ホリオキシAL水和剤	451 ／100g	500倍～ 1000倍	前日まで	3	1	○ 1000倍	○ 500倍		○ 500倍			

《除草剤》

剤系	薬剤名	価格 ／容量	農業使用基準				適用
			濃度・量 (10a)	使用期間 (収穫何日まで)	使用 回数	含有 成分	
ジニトロアニリン	トレファノサイド粒剤2.5	1,296 ／3kg	4～5kg	定植前	1	1	定植前(植穴掘前)土壌表面散布 露地栽培のみ
アミノ酸	バスタ液剤	2,047 ／500ml	300～ 500ml	定植時～収 穫前日まで	3	1	定植前又畦間処理、但し収穫前日

★印は毒劇物農薬です。購入時には印鑑が必要となります。

※掲載価格は、平成22年3月現在の当用価格(税込)です。

※登録農薬は、平成22年3月現在の登録内容です。